

よりみちエールのあとは…



ヒロユキ エール

H I R O Y U K I A L E

日本のビール界の第一人者であり、『よりみちエール』の監修もつとめる藤原ヒロユキ氏が、作中に出てくるビールやお店について徒然なるままにあれやこれや語ります。



第3回は、見ているだけで楽しいクラフトビールの「ラベル」について。

TAP 3

ジャケ買いもまた楽し

LPレコードが主流だった時代、「ジャケットが気に入ったから買う＝ジャケ買い」をすると、まあ大体は“アタリ”だった。「ジャケットの良いレコードは音楽も良い」ことが多かった。

ビールは他のお酒に比べて、ラベルの個性が豊かなのでジャケ買いが楽しめる。飲み終わった瓶や缶が捨てづらくて飾ってる人って多いのではないかな？(笑)

今回登場した「びあま」のように、数多くのビールが並ぶショーケースは眺めているだけで心が躍る。そのうえこの店は、その場で飲むこともできる。いわゆる「角打ち」である。リーズナブルに飲めるのがありがたい。



ジャズの奇才セロニアス・モンクをフィーチャーしたブラザーセロニアス!

頼道さんらしい!

ブラザーセロニアス
[スタイル] ベルジャンスタイル ストロングダーク
[醸造所] ノースコースト
[アルコール度数] 9.4%
[国・地域] アメリカ

頼道が選んだ「ブラザーセロニアス」は、鬼才のジャズピアニスト、セロニアス・モンクにちなんでいて、修道僧を表すモンクにもかけたデザインだ。後光がピアノの鍵盤になっているのが面白い。

アランの「カリフォルニアドリーム」は、うって変わってカラフルでポップな缶入り。80年代のゲームをモチーフにしているが、1965年にママス&パパスが唄った名曲「カリフォルニア・ドリーミング」を思い出すおじさんおばさん達も多いのではないだろうか。

レコードと同じで、ラベルのセンスの良いビールは、まあ大体は“アタリ”であることが多い。



僕の色合いとかシテイポップ感が好みてこれにしました

アランのは?

カリフォルニアドリーム
[スタイル] ホッピービルスナー
[醸造所] ミッケラーサンディエゴ
[アルコール度数] 4.6%
[国・地域] アメリカ



『ブラザーセロニアス』『カリフォルニアドリーム』ここで飲めます!

藤原ヒロユキ (ビアジャーナリスト/ビール評論家)

1958年生まれ。大阪教育大学卒業後、中学教員を経てフリーのイラストレーターに。ビールを中心とした食文化に造詣が深く、(一社)日本ビアジャーナリスト協会代表として、各メディアで活躍。“ワールドビアカップ”をはじめ、海外の国際ビアコンテストの審査員を務め、著書に「知識ゼロからのビール入門」「BEER HAND BOOK」「ビールはゆっくり飲みなさい」など多数。



びあま 北千住店 **テイクアウトもOK!**

〒120-0034 東京都足立区千住2-62 吉岡ビル
☎050-5269-9011

※現在の営業時間はお店にお問い合わせください。